

# こうざえもんつうしん 講左衛門通信

平成 29 年 9 月 24 日

## 第 93 号

発行 天台宗忍草山東円寺  
〒401-0511  
南都留郡忍野村忍草38  
☎ 0555-84-4114

クニマッスン

出生地 忍野村

山梨県水産技術センター

口癖 でまっすん..



ふじのだいがこうざえもん  
富士大我講左衛門 年齢不詳  
職業 大我講の先達  
(先達とは案内責任者)

『今日は、おみくじの歴史から話をしようと思っておるんじゃ。クニマッスンは、元三大師を知っておるかのう。』

『比叡山中興の祖、慈恵大師良源でまっすん。正月三日に亡くなられたことから通称「元三大師」と呼ばれるようになり、現在では、元三大師という名の方が有名でまっすん。良源様は、靈騷者としても有名で、疫病封じの御符（角大師・豆大師）は、現在でも家の玄関に貼り災厄除けとして、元三大師縁のある寺院で、拝受しているでまっすん。』

『そうなんじゃ。前回話したように、東叡山寛永寺の開祖天海大僧正は、良源様に深く帰依していたんじゃ。江戸の庶民が苦しみ悩んだ時にどうしたらいいのだろう..と夢枕に立たれた源信様に尋ねると、戸隠神社の奥社に観音籤が納めてあることを告げられたんじゃ。しかし、元三大師堂のおみくじは、天海大僧正のおみくじとは違うんじゃ。大師堂でおみくじを引くのは、輪番といわれる、大師堂をお守りされている方なんじゃよ。おみくじを引いてもらうには、おみくじの答えに従うことを約束するんじゃよ。約束できない人は、おみくじを引いてもらうことができないんじゃ。そこが、江戸時代から現在に伝わるおみくじの違いなんじゃよ。』

『病気になって、手術をするかどうか迷った時や、結婚するかしないかを迷っているときなど、人生の岐路に立たされた時に、覚悟して引くおみくじでまっすん。怖いでまっすん。』

『おみくじの引き方じゃが..自分の名前、年齢、お願い事をはっきり仏様や神様にお伝えするんじゃ。神様も忙しいからのう..誰がどのようなお願い事をしているのか、分からなくなってしまう..という話もあるんじゃよ。面白い話があつてな。ある人が、〇〇さんと結婚させてください..と願ったそうじゃ。苗字だけで名前を言うのを忘れたんじゃ。数年の歳月が過ぎ、〇〇という苗字の人と結婚したそうじゃ。苗字は一緒だったが名前が違う人だったんじゃよ。面白いじゃろ。』

『確かに、神社や寺院へ行って、これほどしっかり自分のことを伝えることはしていないでまっすん。お願い事をするのに、自分のことをしっかり伝える誠意は必要でまっすん。』

『現在では、くじ引きのように楽しみとしておみくじを引く人もおるじゃろうから、一概には言えんが、困ったことがあった時には、自分がどうのようになりたいのかを明確に神様・仏様に告げることは大切なことかもしれんな..また、お願い事をして引いたおみくじは、身につけ、何度も読み返すことで、おみくじに書かれた内容を理解することができるんじゃよ。このように考えると、おみくじに深い意味があることが分かってくるのう..』

『とても、考えさせられるでまっすん。次回は、何を話してくれるでまっすん？』

『内容が変更になるかもしれんが、第 89 号の続きを話したいと思っておるぞ。』